

平成 28 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 11 月 30 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の達成目標	期間・回数	学習内容	主な講師
例	〇〇 公民館	〇〇講座 「〇〇〇〇〇」	〇〇〇		〇月〇日～ 〇月〇日・全 〇回		〇〇 〇〇氏 (〇〇〇〇大 教授) 他〇〇名
1	柳沢	まちづくり講座③ 手話でつながろう！奏でよう！	地域づくり	聴覚障害を持つ人への配慮について考え、手話実践も学ぶ。多様な市民が地域でともに暮らしていることに気づく。	1 月 15 日～ 2 月 26 日 (日) 全 7 回	手話実践(手話ソング含む)	・西東京市登録 手話通訳者の会 代表 田中照代 ほか

2	柳沢	現代社会を考える講座 「沖縄の戦後史を知る。そして、考える。」	学習	沖縄の戦後史を学ぶことを通して、沖縄の今を理解するとともに、この社会について考える。	1月21日～ 2月25日・ 全5回	①沖縄戦の実相②米軍基地の拡張と農民の抵抗③日本本土のなかの「沖縄」④復帰か返還か⑤沖縄のいま（1995年以降）	戸邊秀明（東京経済大学経済学部准教授）
3	柳沢	雇用・労働問題講座パート1 「STOP! 過労死・過労自死～今わたしたちにできること～」	学習	若者の過労自殺事件を通して、私たちはどのような社会に生きているのか、考える。	3月5日 （日） 全1回	・なぜ、若者の過労自死はおきたのか ・過労死・過労自死を生み出す社会的背景とは？ ・過労死・過労自死を防ぐために	高須裕彦（一橋大学大学院社会学研究科フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター） 青野恵美子（明治大学労働教育メディア研究センター・客員研究員）
4	柳沢	雇用・労働問題講座パート2 「パワハラ・バイトは許さない～若	学習	大学生や10代、20代の若者とその家族を対象に、若者がアルバイトとして働く場	3月26日 （日） 全1回	・学生アルバイト実態調査からみえてくるもの ・アルバイトのための法律Q&A ・トラブルにあったとき	同上

		者の職場をチェック！～」		の問題について考える。			
5	ひばりが丘	はじめてのフラ体験講座	交流	健康づくりと多世代間交流。	2月10日～3月3日(金) 全4回	フラダンス実技	並木静子(フラダンスサークル「レアレア」講師)
6	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座(Part2) 不思議なほど日常動作が変わる身体の使い方	学習・自己実現	自分自身の身体と向き合い、日常を見つめ直すことで、健康的な生活を維持していくことを考える。	2月28日～3月28日(火) ただし3/13は月 全5回	身体技法実技	甲野 陽紀 (身体技法研究者。武術研究者)
7	田無	防災講座 もしもに備えてイメージしよう！ my減災マップ作り	地域づくり	防災をどうやって自分事として捉えるか(自助)、どうやって自分の身の周りの人たちと助け合えるか(共助)	①1/31(火) ②2/7(火) 全2回	①my減災マップを作ろう ②2/7(火) 防災まち歩き&自助・共助について考える ※参加者の思いや感想を発言する時間を設け、「今日の感想カード」にも記入し、意見を共有する。	鈴木光(減災アトリエ主宰、防災図上訓練指導員、工学院大学客員研究員)
8	芝久保	子ども体験講座 「はじめよう！理科読」 ～音の不思議を知ろう～		「音」について興味を持つ体験や工作を行い、楽しみながら学ぶ。感じたことを、本で確かめ理解を深める。	1月14日(土)・15日(日) 全2回	①・体験：音が振動であることを確かめる。 ・工作：いとでんわ・音ダンサー ②・体験：耳のはたらき。音の記憶を集める。効果音紙芝居。 ・工作：ストロー笛・紙鉄砲	土井 美香子 (NPO法人ガリレオ工房理事)